

P 38

更年期障害患者における、黒大豆微粉末の投与例について

恵寿総合病院 ○小濱 隆文

【目的】更年期障害患者に、黒大豆微粉末（黒大豆香琲ブラックジンガー、シガリオ）を投与し、更年期障害における不定愁訴の改善効果を検討した。

【方法】患者は、当院婦人科外来における40歳から50歳までの更年期障害と診断した患者で、ホルモン補充療法（プレマリン 1.25mg+プロベラ 2.5mg）にすみやかな症状改善の認められなかったか、副作用のため継続不能であった患者32名、未治療患者15例の計47例を対象とした。黒大豆微粉末は、6.0g（2.0gを一日3回）を一日量とし、3ヶ月間毎日摂取させた。

【結果】3ヶ月間毎日摂取継続したものは、44例であった。内、改善例は、重複例を含め、ほてり6例（8/24：33%）、発汗8例（8/15：53%）、倦怠感25例（25/37：68%）、四肢冷感5例（5/12：41%）および鬱症状6例（6/9：66%）であった。いずれの改善例も投与一ヶ月以内に改善傾向を認め、その後再発・副作用は認められなかった。摂取を中断した症例は、嗜好的理由2例、その他1例であった。また、嗜好的にも満足度が高いように思われた。

【結論】従来の更年期障害治療に対して改善の乏しい症例に対しても、黒大豆微粉末は、更年期障害による不定愁訴に対し改善効果があることが示唆された。また、副作用が極めて少なく嗜好的に満足度が高いことにより、長期継続摂取が容易であると思われた。